

コスモス 52号

COSMOS GAKUEN



社会福祉法人
足柄緑の会

編集・発行/コスモス学園

発行日/令和8年3月31日

<https://www.n-csm.jp>

コスモス学園中沼ジョブセンター
コスモス学園中沼ケアセンター
コスモス学園松田センター

コスモスホーム
居宅介護事業所それいゆ
相談支援事業所あすなろ



— 特集 —

- ◆ 新理事のご紹介
東海 康行 / 小野 達也
- ◆ 令和7年度 コスモス学園祭
- ◆ 令和7年度下半期 各事業所ニュース

- ◆ 令和7年度 バス旅行
- ◆ 成人式 / 消費トラブル講座 / 職員研修
- ◆ 福祉車両導入のご報告 / 新職員紹介 /
あのひとこんなひと / 善意



中沼ジョブセンター



コスモスホーム



中沼ケアセンター



松田センター

新理事の紹介



理事

東海 康行

令和七年度より理事に就任しました
東海康行と申します。

私は大学卒業後、一般企業に就職、その後障害福祉へ転換し、三十年ほど福祉業界で勤務してきております。

実は私の障害福祉業務の出発点となったのが足柄緑の会の前身となる「南足柄市地域作業所 希望の家」でした。南足柄市運営から民営化・施設化していく方針から、「中沼コスモス学園 授産施設・更生施設」が開設され、自分は希望の家から授産施設指導員として入職することになりました。その後数年経過し、将来の自分を考えたところで退職、精神障害者地域作業所を経て現在の社会福祉法人よるべ会に勤務することになりました。

コスモス学園は元・職員として転職後もずっと気になっていたところで、今回このような理事のお話をいただき、感謝とともにとても嬉しく思っております。正直まだまだ未熟な自分が引き受けられるか心配で迷いましたが、足柄緑の会にまた何か少しでもお役に立てればと思ってお受けすることにいたしました。

あらためて話をうかがいますと、各施設をしつかりと育み、歴史を刻んできたことの素晴らしさを感じました。

ご苦勞も多かったと聞いておりますが、苦勞を乗り越えていくと必ず「力」がつかます。その「施設力」が現在の姿になっているのだからと思います。元・職員としては本当に嬉しいかぎりです。

個人的には出身が南足柄市ということもあり、やはり何か縁を感じずにはいられませんが、本当に縁があるのであれば、これからその縁を大切につなぎ、さらに広げていけるようにできることをしていこうと思っております。自分はただの凡人にすぎません。特別に秀でた才能もない自分ですが、今の自分に何ができるか、を考えていくことだけは常に心掛けるようにしています。現在のよるべ会の中では、幸いにも通所・就労支援・相談・児童・入所と経験をさせていただいています。この経験が少しでもこれからの福祉に役に立てるように努力していこうと思っております。

学ぶことが多く、奥深さを感じる障害福祉。これからの担う次世代の方々にも、この業界の魅力をわかっていただけることを切に願っております。五十代半ばとなり、いろいろ過去を振り返ってみると、反省することが本当に多くありました。この反省を踏まえ、これから先、さらに自己研鑽しながら一歩でも進んでいくことができるようにしていく所存です。

皆様、今後ともどうぞよろしくお願いたします。

新理事の紹介



理事

小野 達也

令和七年度より理事に就任しました
中沼ジョブセンター所長 小野達也
と申します。

理事就任にあたり、これまでの当センターの歩みを振り返り、現在の状況についてお伝えいたします。

私がコスモス学園で働き始めた二十五年前、成形機は三台。利用者の皆さんとともに、プラスチック製品のライン検査に明け暮れる日々でした。当時の平均工賃は七千円から一万円ほど。平成十五年の支援費制度、平成十八年施行の障害者自立支援法を経て、障害福祉は「保護」から「自立・就労重視」へと大きく舵を切りました。就労継続支援B型が制度化されるなか、月一万円台にとどまる工賃の実態が社会課題となり、工賃向上は明確な政策目標となりました。

利用者の皆さんは常に真剣に作業に向き合っています。だからこそ求められたのは、「一人」ではなく「仕組み」の改革でした。私たちは成形部門を抜本的に見直し、商社を介した低単価構造から脱却。ISO9001の取得、技術力向上、品質保証体制の強化を進め、企業と直接取引できる体制を整えました。その結果、単価は大きく改善し、現在は六台の成形機が稼働、オートメーション化も実現しています。

受注部門も独自営業により地元企業からの信頼を積み重ね、多様な作業種を受注できるまでになりました。

喫茶、農園、バイオディーゼル事業など、多くの挑戦も重ねてきました。成功だけでなく失敗から学んだのは、工賃向上には徹底した経費管理と収支バランスの見極めが不可欠だということです。同時に、工程の工夫や機材開発、施設外就労への挑戦などを通じ、利用者一人ひとりの強みを活かせる環境づくりを進めてきました。そのためには、支援員が小さな表情や行動の変化に気づき、適切に支援できる力を磨き続けることも欠かせません。

現在の平均工賃は約二万一千円。全国平均には届かないものの、着実に伸び続けています。令和七年度からは、障害者優先調達推進法に基づき、県西の市町村と連携した「工賃千円アッププロジェクト」も始動しました。サイクリングコースや公園、町有地の草刈りなどを近隣事業所と協力して受注し、その成果は行政からも高く評価されています。

小さな改善の積み重ねが、大きな信頼と成果を生む。これからも「働く喜びが未来を拓く場所」であり続けられるよう、一歩ずつ前へ進んでまいります。

令和7年度コスモス学園祭

2025年10月11日、学園祭を開催しました。

今年のテーマは「つなぐ」。

天候に恵まれず中止も危ぶまれましたが、雨の中での開催となりました。会場には3店舗のキッチンカーが並び、ボランティアの皆さんのご協力もあって売店は大盛況でした。

ステージでは今年は6団体のゲストが出演予定でしたが雨の影響で1団体がキャンセルとなりました。

それでも利用者さんたちによる阿波踊りが会場を大いに盛り上げ、ステージは熱気に包まれました。

最後に行われた毎年恒例の大抽選会も白熱し、多くの笑顔の中で学園祭は大盛況のうちに幕を閉じました。



SPECIAL THANKS

- 立花学園高等学校
- 岡本地区民生委員
- 南足柄市社会福祉協議会
- 中沼福祉会
- 鎌倉女子短期大学
- 鎌倉女子大学
- コスモス学園保護者会
- コスモス後援会
- コスモス学園元支援員

- ふくらん
- グワテ
- ブラシッダ
- 小田原クエスト
- クーチエ

- ハイビスカス(フラダンス)
- 金黒製曲尺八(サックス演奏)
- ジョイメモリーズ(ハーモニカ演奏)
- あべたけし(ものまねステージ)
- ほりあん第一しおん(ピアノ演奏)

ご来場のみなさま (敬称略)

来年度のご来場も職員、利用者一同お待ちしております



中沼シヨブセンター

二月五日にチーム支援連絡協議会主催の事業所見学会が行われました。県西地区の施設の職員、二十三名が当センターの作業の様子を見に来てくださいました。お手製のパンフレットを見ながらの見学会。大勢の見学者が作業室に來たので、利用者の皆さんはとても緊張した様子でした。見学者の皆さんは当センターの利用者の作業への向き合い方、たくさん取り組む姿勢にとても驚かれました。



ジョブセンターパンフレット作成しました！！



そして、施設外就労では昨年に、湘南NPOサポートセンターから声をかけていただき、小田原にある山上蒲鉾と伊勢兼蒲鉾での作業が週四回でスタートしました。午前中に山上蒲鉾でみれの製品検査(数がしっかりと入っているか、袋の印字はされているかなど)や箱詰めして出荷前の状態にする作業を行っています。検品も初めは時間がかかっていましたが、今ではすぐ見て数の違いが分かってしまうほどのプロの動きです。

さつまあげをトレーに入れてます。



午前中だけで、なんと約三〇〇箱(一箱六袋入り)も仕上げています。そして、そのまま、山上蒲鉾で注文しているおいしいお弁当を食べながら、隣にある伊勢兼蒲鉾へみんなで移動します。午後からの伊勢兼蒲鉾ではさつま揚げの入った袋をバックシーラーで留める作業や、留めたものをトレーに並べる作業をしています。こちらも午後だけでなんと、約千五〇〇袋も仕上げられています。これからも仲間と分担しながら頑張りたいと思います。

袋をバックシーラーで留めてます。



行事では、二月十三日にレクリエーションが行われました。今回は、クイズ大会です。前半はA-I画像曲名当てクイズを行いました。利用者の皆さんが口頃、昼休みのカラオケで歌っている曲の中から出題しました。チーム戦だったので、班のメンバーと相談しながら紙に記入しました。皆さんさすがで、ほとんど答えが出てきました。後半は、絵を見て、間違え探しを行いました。二つの絵を見比べて違つところに丸をつけて、順番に答えていきました。こちらも皆さん間違えを見つけるのがとても早く「あーあれが違うー」などと大盛り上がりでした。



Quiz



中沼ケアセンター

十二月十九日(金)にクリスマス会を行いました。甘いものが苦手な方もいるため、「よーしー!それならば」と忘年会気分でおでんで一杯をテーマに企画しました。午前中はサンタクロースの衣装や赤いワンピース、トナカイのカチューシャを用意し、大きな地球の装飾の前で写真撮影。衣装を身につけると、皆さん自然と笑顔になり、素敵なポーズを見せてくれました。

午後は、くじ引きで決めた職員による二人羽織からスタート。生クリームたっぷりケーキを口に運ぶたびに「ちがーうー!」と「じゃないー!」と声飛び交い、会場は大盛り上がり。所長も飛び入り参加し、顔も頭も生クリームだらけになって大笑いとなりました。

その後はシャンメリーで乾杯し、サンタ姿の職員がおでんを配膳しました。温かいおでんにほっと笑顔がこぼれ、最後はクリスマスソングを合唱。笑い温かさ包まれた一日となりました。さて、次回の二人羽織は誰が挑戦するのでしょうか…



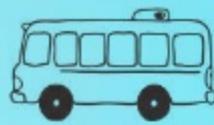
今年度最後のレクリエーションでは、職員から利用者さんの皆さんへ一年間の感謝の気持ちを込めて、ポリarium満点の特性お好み焼きを作り提供しました。用意した生卵はなんと合計六十個。香ばしい香りが広がる中、焼き上がりを楽しみに待つ皆さんの表情はとてもいきいきとしており、「おいしいー!」という声があちこちから聞こえてきました。ふんわり焼きあがったお好み焼きを囲いながら、自然と会話も弾み、和やかに楽しい時間となりました。また、さまざまな飲み物も用意し、それぞれが好きな一杯を手に取り、笑顔あふれるひとときを過ごしました。

スライドショーも上映し一年間の歩みを振り返りました。夏の風物詩である納涼大会や、一丸となつて盛り上がった学園祭など、思い出の写真が映し出されるたびに「なつかしいね」「楽しかったね」と笑顔が広がり、仲間と過ごしたかけがえのない時間を再確認することができました。一年間の思い出を共有し、心もお腹も満たされる、あたたかいしめくくりの一日となりました。



11/7

バス旅行



11/14

澄み渡る晴天のなか、11月7日、バス旅行を実施いたしました。今回は平塚サン・ライフガーデンにてピュッフェランチを楽しみました。とても綺麗で大きくて広いお部屋で本格的なシェフの作る中華バイキングに皆さん舌鼓を打っていました。

たくさんのお料理が並んでいましたが、あっという間にお皿が空になり、大満足な様子でした。

食後はウエディングも行う荘厳な美しいチャペルの見学を行いました。普段見慣れない光景に興味津々な様子でした。

帰りの車の中でも美味しかった、教会きれいだったね～などなど大満足な声が聞かれ、一日楽しく過ごすことができました。

中沼
ケアセンター

今年のバス旅行では富士山の見える景色の良い牧場、まかいの牧場へ行ってきました。お天気が心配されましたが、この日はなんと良いお天気。そしてぽかぽか暖かい散策日和となりました。

今回のバス旅行では、何か一つ園内で体験しようを目的に、事前にアンケートを取って体験するものを決めました。



ウシの乳しぼり、ヤギの散歩、子ウシのミルクやり、トラクターバス乗車、吹き矢とアーチェリー、園内散策の中からそれぞれ分かれて楽しみました。ウシやヤギなど普段触れ合う機会が少ない動物とも楽しく触れ合うことができました。

milan bonjordan



体験後は皆さんお楽しみのレストランでの昼食バイキングでした。一列に並んで、食べたいものを食べられる分だけお皿に盛りつけました。

一緒に席に座った仲間ともおしゃべりをしながらゆったりとした時間の中で、食事を楽しみながら過ごすことができました。



11月7日に秋晴れの空の下、待ちに待ったバス旅行に出発しました！今年の目的地は、平塚にあるサンライフガーデン(結婚式場)。華やかな式場に到着し、お食事会場のフロアへ。エレベーターを降りた瞬間の開放感に「広い！」「豪華！」など驚きの声が上がっていました。

お料理は中華でしたが、いつもとは少し違う特別な味に「お肉が柔らかい」「不思議な味だね！」「美味しい！」と色とりどりの料理を堪能し、ゆったりとした時間が流れました。

お腹いっぱいになり良い天気なので、帰りの時間までの空き時間では、外に出てきれいな景色の中を散歩したり、記念撮影をして過ごしました。

普段の活動とは違う場所で、新しい景色や味に触れた一日となり、帰りのバスの中まで、皆さんの楽しそうな余韻が響いていました。

松田センター
生活介護

11月14日、昨年に続き時之栖『麦畑』でのバイキングと静岡県裾野市にあるヤクルト工場見学のバス旅行を行いました。

午前中は目的地までの道中、車窓からの景色を楽しんだり、会話が弾みました。そして昼食は、和洋中と様々な料理が並ぶなか、それぞれお好きなメニューを選び、「カレー美味しい！」「おかわりしようかな」と嬉しそうな声が聞かれました。なかにはパンをトースターで焼いて、アイスや生クリームをトッピングしてシェフ顔負けのデザートを作っている方もいました。

午後はヤクルト工場の見学へ。担当の方から製造工程についてわかりやすく説明していただき、質問タイムでは、「休憩時間はどれくらいありますか？」などB型で働いている方ならではの質問もありました。最後に試飲やおみやげをもらい、帰路につきました。

今回のバス旅行は、外出の楽しさや新しい発見に触れ、心に残る一日となりました。

松田センター
就労継続支援B型

中沼ジョブセンター

今年度、**さん**1名が成人を迎えました。毎年、担当職員が行っているお祝いの言葉や色紙の贈呈ですが、今年は初めての試みとして、**さん**の友人である、**さん**、**さん**に先輩代表として担当していただき、緊張する空間ながらも和やかな雰囲気で行われました。

さんも引き締まった表情でお礼の言葉を述べていました。**さん**は、今年の1月に就職し、成人を迎えただけでなく社会人としても大きな一歩を踏み出しました。これからの更なる活躍を利用者、職員一同応援しています。

祝 成人式



松田センター

生活介護の**さん**が成人を迎えられました。当日は晴れやかな装いで参加され、ご家族や職員に見守られながら、温かな雰囲気の中で式が進みました。

開会の言葉として、松田センターB型のコスモス会会長よりお祝いのメッセージが贈られると、様々な思いが込み上げられた様子で、思わず涙ぐまれる場面もありました。

その一方で成人者あいさつでは、これからの目標や意気込みを元気に語っていました。

記念撮影では自然と笑顔が広がり、笑いあり涙ありの心温まる時間となりました。



消費トラブル講座

NO



9月24日に、中沼ジョブセンターと松田センターの就労継続支援B型合同で、神奈川県くらし安全防災局の方をお招きし、消費者トラブル講座の研修を行いました。今回の研修では、スマートフォンの普及によりコミュニケーションが容易になった一方で、オンラインゲームの課金やSNS上でのトラブルなど、意図せず巻き込まれてしまう消費者トラブルについて学び、その対策や注意点について理解を深めることができました。利用者みなさんに分かりやすく伝えるため、動画を見たり寸劇を行ったりしながら、身近に潜んでいる消費者トラブルの怖さを実感できる内容となっていました。実際の場面をイメージしながら学ぶことで、「どんなことに気をつければよいのか」「困ったときにはどうすればよいのか」を考えるきっかけにもなりました。



YouTube



職員研修

2月21日(土)に法人全体の職員研修を行いました。午前のテーマは「風通しの良い職場づくり」です。日頃の支援のなかで感じていることをきっかけに、グループワーク形式で意見交換を行いました。

研修ではグループごとに話し合いを行い、日々の支援の中で感じていることや気づきについて多くの意見が出ていました。年齢の違う職員同士でも自然に会話が生まれ、会場には笑いも多く、楽しい雰囲気の中で研修が進んでいました。

説明ではイラストを使ったことで内容のイメージがしやすく、「分かりやすかった」という声も多く聞かれました。

話題が広がる場面もあり、職員同士で支援について率直に話す良い機会となり、それぞれのグループで前向きな話し合いが行われていました。今回の研修を通して、普段なかなか言葉にする機会の少ない思いや気づきを共有する時間となりました。今後も職員同士で話しやすい雰囲気を大切にしながら、風通しの良い職場づくりにつなげていきたいと思います。

午後は各事業所ごとに、今年度より導入したeラーニングを活用し、グループワークを実施しました。



テーマ「風通しのよい職場づくり」



公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団 助成事業による福祉車両導入のご報告



このたび、公益財団法人 中央競馬馬主社会福祉財団様より令和6年度助成事業のご支援をいただき、送迎車両「トヨタハイエース」を購入いたしました。

新しい車両の導入により、利用者の皆さまが安心して乗降できるようになり、送迎時の安全性と快適さが大きく向上しました。

中央競馬馬主社会福祉財団様のご厚意に、心より感謝申し上げます。



新職員 紹介



中沼ケアセンター



松田センター



松田センター



松田センター

あ の ひ と こ ん な ひ と



中沼ケアセンター支援員

令和6年5月より中沼ケアセンターに入職し、支援員として働かせていただいています。これといった趣味はありませんが、アニメや様々な動画を見ることが好きです。特に料理や生き物の動画をよく視聴しています。

海や深海の生き物は知らない種類が多く、不思議な動きにいつも癒やされています。色鮮やかなウミウシの赤ちゃんは、とても可愛らしくおすすめです。中沼ケアセンターの周辺も自然が豊かで、クマムシや鹿、タヌキなどの生き物に出会えた時は、とても感動しました。これから春から夏にかけて、小さく可愛らしいイトトンボに出会えたら嬉しいと思っています。

日々様々な出来事がありますが、感謝の気持ちを大切にしながら、今後も支援につなげていきたいと思ひます。

趣味に仕事に頑張る2人を紹介します



中沼ジョブセンター支援員

令和7年5月より中沼ジョブセンターに入職いたしました。前職では農業に従事しておりました。その経験を活かし、現在は中沼ジョブセンターにて施設外就労を中心に、草刈り作業の支援などに携わっております。

日々新たな発見があり、利用者の方々から多くのご意見をいただいております。大変やりがいを感じております。



趣味はサッカーで、月に2度ほど小田原アリーナや南足柄体育センターでプレーしています。また、湘南ベルマーレのファンで、試合のある週末には平塚のスタジアムへ足を運んでおります。仕事にも趣味にも前向きに、そしてアグレッシブに取り組んでまいります。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



私たちは
一人ひとりの
利用者が
一人の人として
究極の幸せを
得、れ、ら、に
支援します

職員・ボランティア募集

私たちと一緒に
コスモス学園で
活動して下さる方を
募集しています
まずはお気軽に
お問い合わせください
(0465)72-0880



学園祭の開催に際しまして、多くの皆様より心温まるお祝いを頂戴いたしました。皆様の温かいご支援に、心より御礼申し上げます。
今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

- 林 淳
- 森内 成典
- 関野 純一
- コスモス後援会
- コスモス学園保護者会
- 小田原北ロータリークラブ
- 富士フイルム労働組合
- イトーヨーカ堂労働組合

善意 (順不同・敬称略)
皆さまより多くのご寄附をいただきました。この書面をお借りしましてお礼申し上げます。